

# “ビーチ再生”

産業能率大学  
小野田哲弥ゼミ

情報マネジメント学部  
現代マネジメント学科

三田 裕美子  
平山 仁大  
落合 勇太  
清水 友菜

**ビーチバレー  
U-21日本代表  
清水友菜**



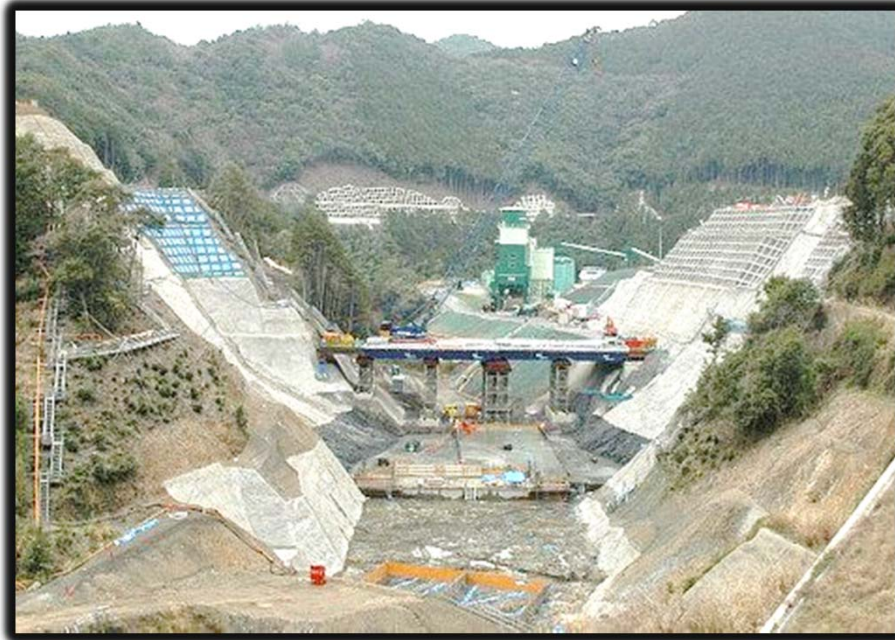
# “ビーク再生”

テレビ朝日  
ANNニュース  
(2014年8月3日 放送)

ANN  
NEWS



# 海水浴場の消滅



浸食

問題意識

川上のダム建設  
海上・海岸建造物



潮流が変化



# 海水浴場の消滅



千葉県九十九里町の海岸は  
36→20に減少

つまり…

# 海水浴場の消滅



千葉県

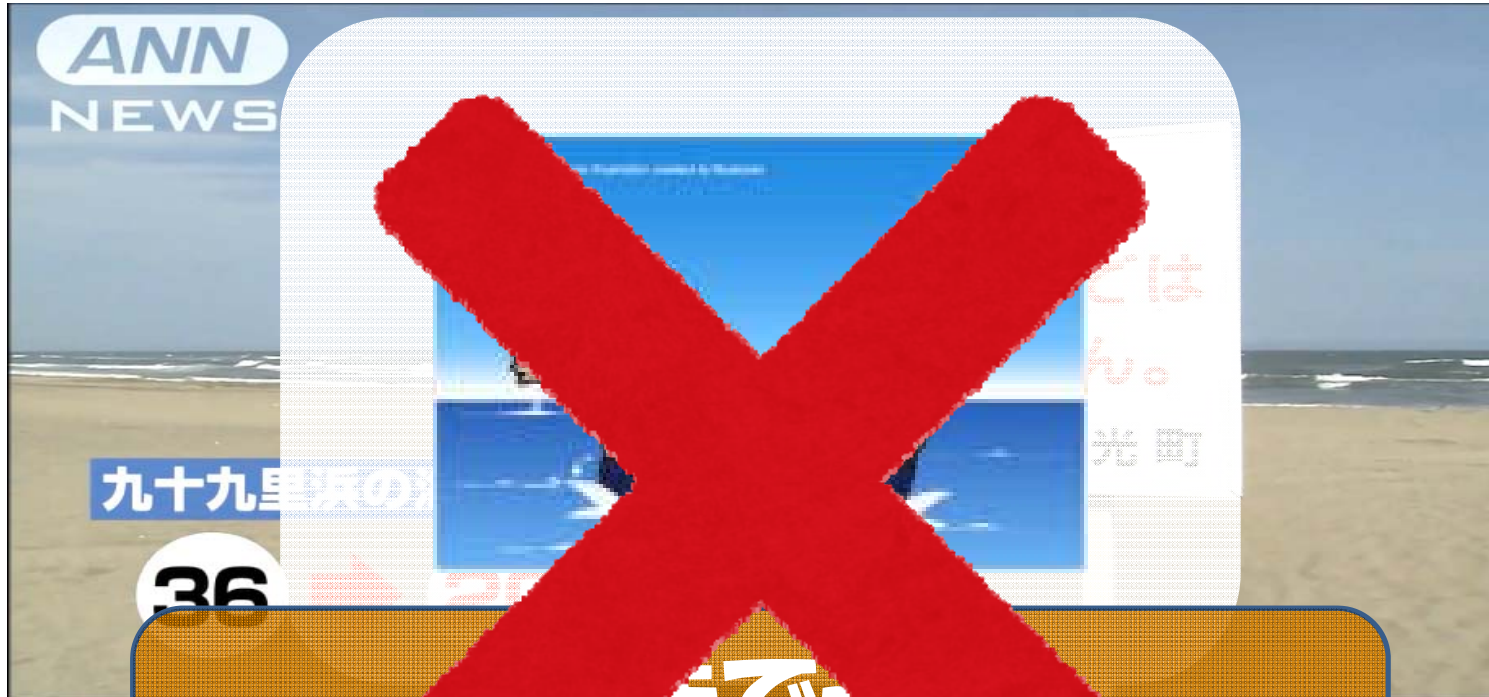
今まで通り  
海で遊ぶことは

36→20に減少

つまり…



# 海水浴場の消滅



千葉県

まで延びて遊ぶこと

36→20に減少

つまり...

# 海水浴客の減少

- プールの増加
- レジャーの多様化

## 種目別運動・スポーツ実施率の動向(海水浴)

6位

11.2%  
(2000年)

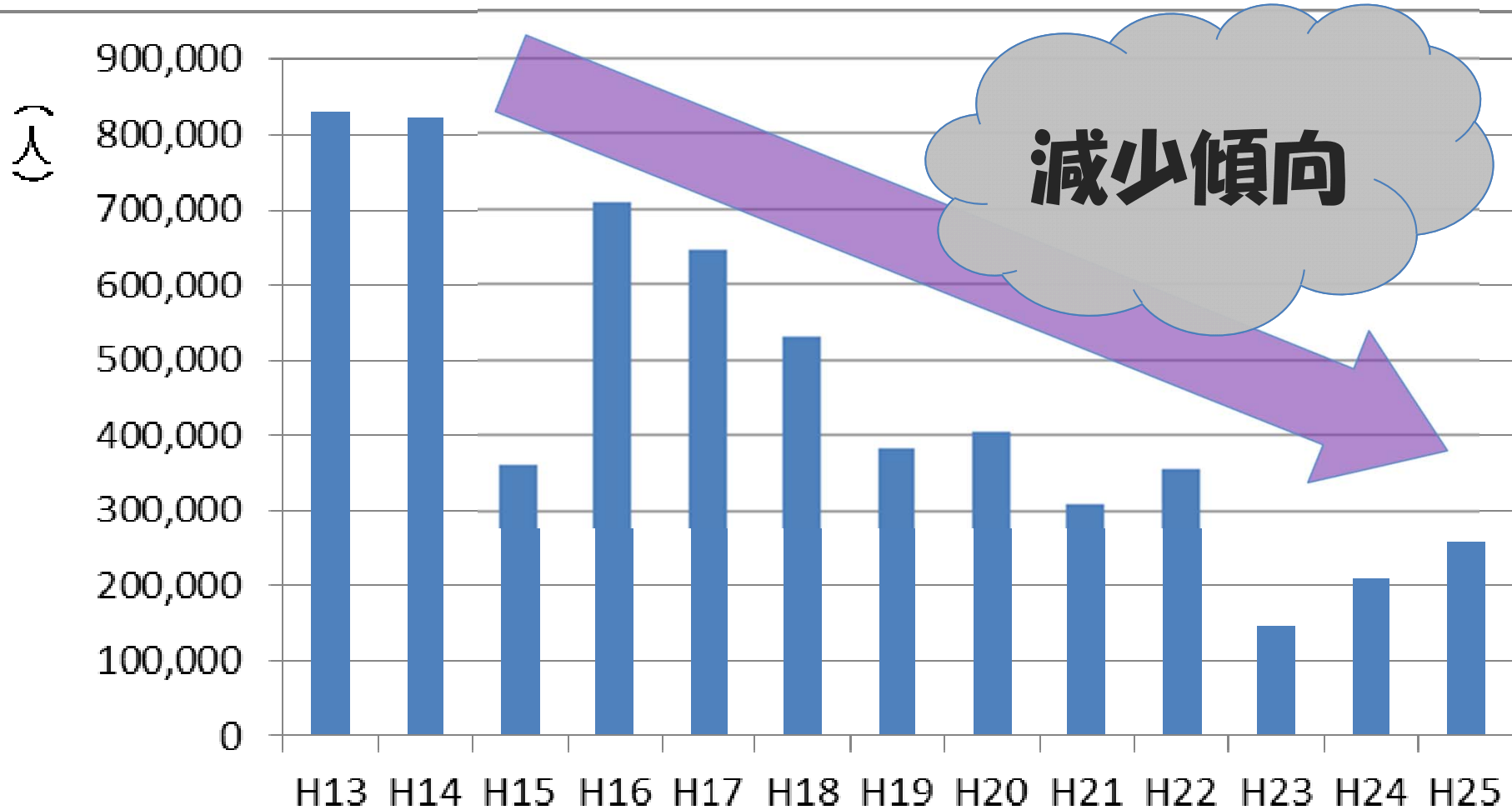
9位

6.9%  
(2006年)

圏外

(2010年)

# 海水浴客の推移



九十九里町の年間海水浴客推移

# ゴールとして

*Before*

*After*

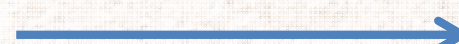
海水浴客減少

運動不足

汚染海岸

自然の怖さを知らない

地域交流 ×



海水浴客増加

運動不足解消

綺麗な砂浜

子供の情操教育

地域交流◎

ゴールとして

Beach

Area

海

ビーチ再生

客増加  
不足解消  
砂浜

自然の怖さ

子供の情操教育  
地域交流◎

“ビーク再生”

アンケート調査

# 全国1000人アンケート

“砂浜とビーチスポーツ”に関する調査”

実施日：2014年7月11日

対象者：全国1000人

方 法：インターネット

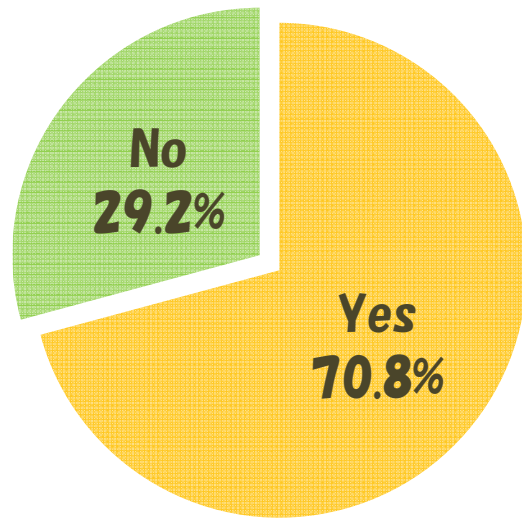
※20代・30代・40代・50代・60代

それぞれ男女同数

均等割付

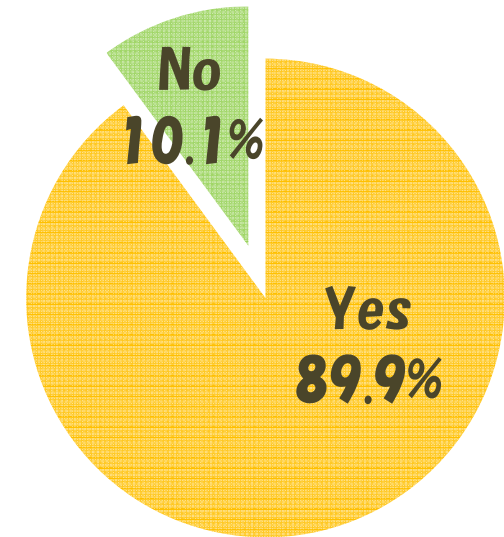
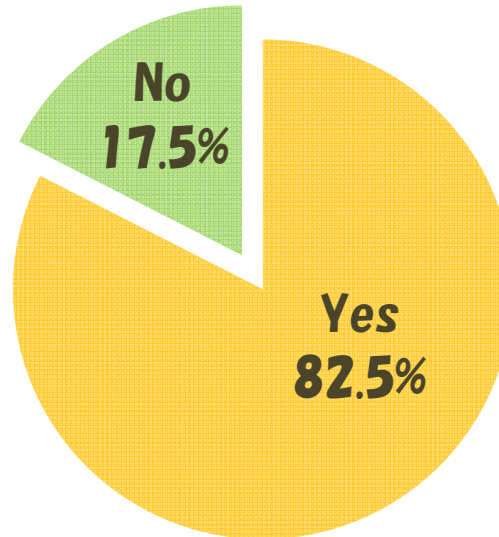
居住地は人口統計比率に準拠

## アンケート結果



砂浜を裸足で歩くことは健康に良いことだと思う

子供にとって海水浴は大切な人生経験だと思う



島国日本にとって自然海岸は貴重な財産だと思う

7割～9割が、“Yes”と回答し、ビーチに対して肯定的なイメージを持っている



## 「砂浜海岸や海水浴場に対するイメージ」

・津波や高波が心配

防災面

・水が汚く、臭くてゴミが多い

衛生面

・マナー違反が多く、うるさい

治安面

ネガティブイメージ

## アンケート調査より

日本国民にとって砂浜の重要性認識は、  
ほぼ総意であることを理解

だが

現状と理想像が大きくかけ離れている

つまり

日本のビーチは、日本社会全体が  
課題解決を願う対象である

そして

まさに“政策”を必要としている対象に他ならない！

## アンケート調査より

日本国民にとって砂浜の重要性認識は、  
ほぼ総意であることを理解

だが

現状と理想は離れている  
日本の砂浜は  
政策実施が不可欠！

日本のビーチは、日本社会全体が  
課題解決を願う対象である

そして

まさに“政策”を必要としている対象に他ならない！

独自の政策提言を行うに当たり、  
先行事例と現状を深く学ぶ必要性を感じた

# インタビュー調査

実際に現場で日々課題と向き合い、  
多くの政策実施経験をお持ちの方々に  
インタビュー調査を実施

**インタビュー協力者様**



藤沢土木事務所  
なぎさ河川砂防部・なぎさ港湾課  
**佐々木 常光 様**



藤沢市役所  
観光課  
**竹上 直輝 様**

茅ヶ崎市役所  
農業水産課  
**矢野 哲也 様**



**インタビュー協力者様**



**NPO法人 Save the Beach  
理事長・プロビーチバレー選手  
西村 晃一様**



**日本ビーチバレー連盟  
副理事長  
川合 庶様**

**逗子市役所  
観光課  
池田 祐一様**



**平塚市役所  
みどり公園・水辺課  
佐藤 智紀様**

# インタビュー調査

1

養浜

2

景観

3

衛生

4

SURF  
90

5

多様性

1

# 養浜

- 砂浜の浸食問題を解決するために行われている行政政策
- コストはかかるが、砂浜は**“天然の防波堤”**であり、津波の軽減効果がある



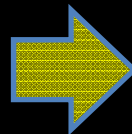


1

養浜

インタビュー調査

# 横須賀海岸



4年間の養浜によって  
ここまで回復

1

## 養浜

## インタビュー調査



- 誤った方法で行うと潮流の変化などを引き起こし、惨事を招く
- 養浜後の副作用など、多角的なシミュレーションを行った上での実施が不可欠



2

## 景観

- 津波対策として、テトラポットの建設で済むと思われるかもしれないが、現実にはそれほど単純ではない
- 建設に伴い、**悪影響を受けるステークホルダー**（漁業関係者、サーフィン愛好家、海水浴客、海の家経営者）が存在する



2

## 景観

## インタビュー調査



美しい景観を損ねないためにも  
テトラポットは建設できない！

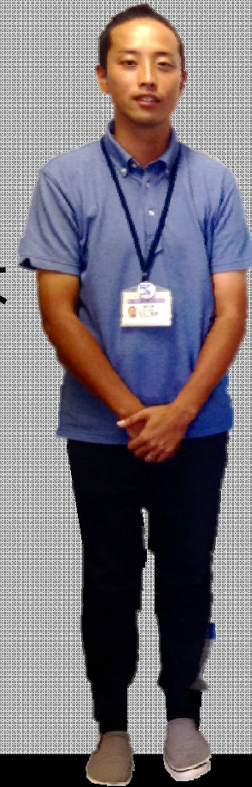
- “美しい景観”を損ねることには  
慎重でなければならない
- 砂浜を綺麗に保つための社会実験も  
試行錯誤されている



3

## 衛生

- 海水浴客が正しくゴミを持ち帰ったとしても、海が綺麗になるとは限らない
- 現在ビーチに設置されている公衆トイレの多くは汲み取り式の“ポットン便所”



3

衛生

インタビュー調査

ポットン便所



排泄物の一部が  
砂や海に漏れ出している

- 排泄物の保管方法が万全ではないため、  
一部は砂に浸透したり、海に漏れ出している
- 藤沢市では市費を投じ、下水道整備や  
水洗化を行い、美化に一定の成功を収めている
- 予算を必要とする課題ではあるが、  
海水浴場では下水道設備の義務化が必要である



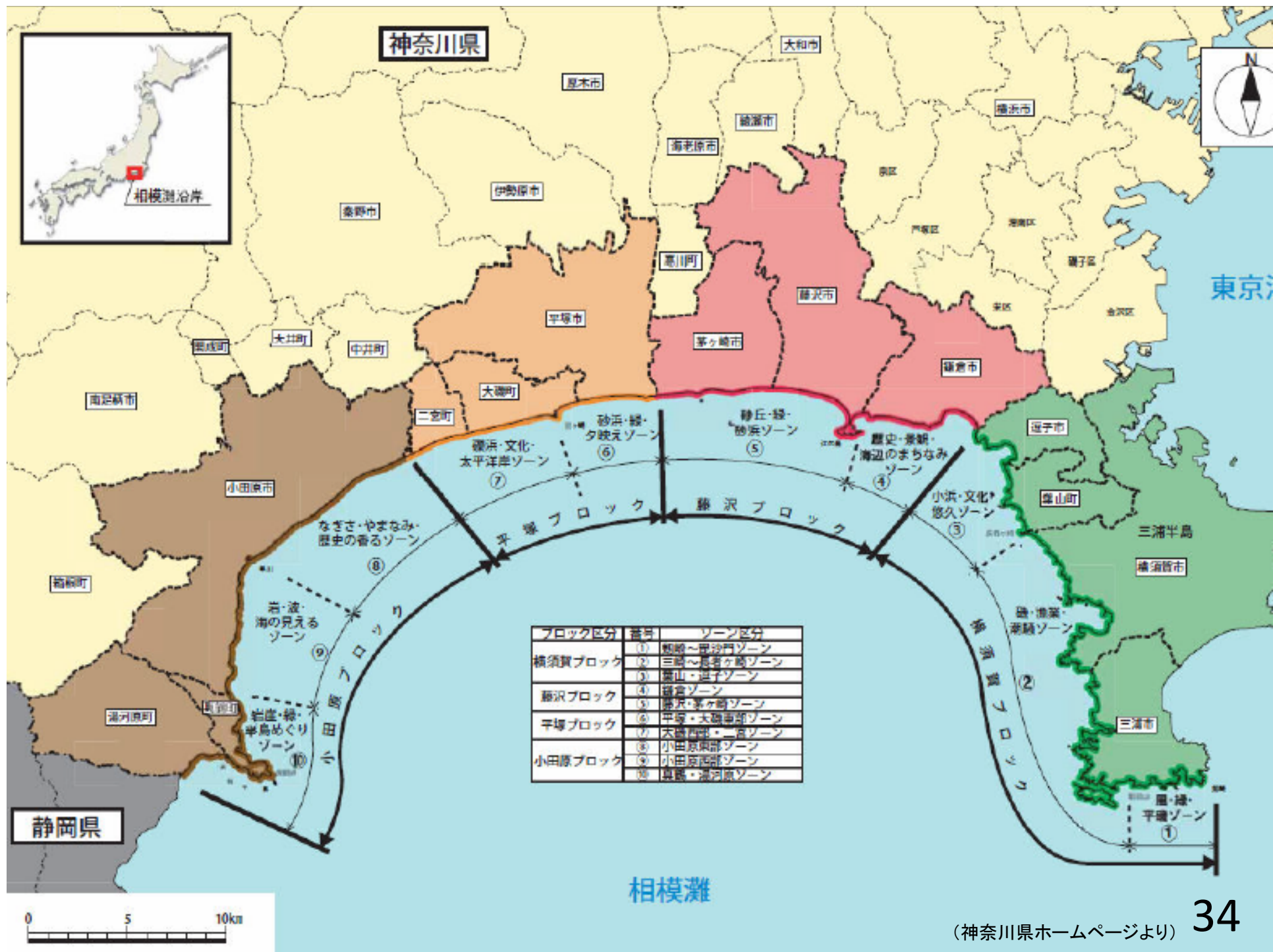


4

## SURF90



- 1990年に開催されたSURF90こと、  
“相模湾アーバンリゾートフェスティバル1990”
- 民間団体と企業等が財団を作り、大々的かつ  
華やかなイベントを開催



4

## SURF90

## インタビュー調査

- 海の事故から海水浴客を守る救助法やパトロール訓練が、ボランティア活動として現在も続いている
- 湘南地域が先進地域になっている背景
- 時代背景が異なるが、地域を限定した“**ビーチ特区**”のような政策の可能性や、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどの社会的一大イベントとの連携が効果的であることを学んだ



5

## 多様性

- イベント等により、観光客を増加させることができれば、経済効果は計り知れない
- 反面、地域住民は騒音や治安悪化などの諸問題に悩まされることになる



- 逗子市は条例施策の結果、賛否両論ではあったが、住民の多くは継続を望んでいる



5

## 多様性

## インタビュー調査



- どの海岸にも言えることは、“**多様性が重要**”
- 政策に関しては必ず賛否両論があり、  
必要に応じての柔軟な変更の重要性を教わった



“ビーク再生”

アンケート調査  
インタビュー調査の結果

日本における砂浜海岸の価値と  
政策実施の必要性を再認識することができた





# ビーチ再生は 待ったなし の 政策課題である

Jリーグの百年構想をモチーフに

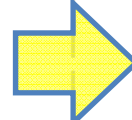


「ビーチ再生100年構想」

として提言したい

## ハーグ百年構想

あなたの町に、  
緑の芝生におおわれた広場や  
スポーツ施設をつくること



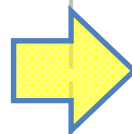
## ビーチ再生100年構想

海への畏敬の念と海の恵みに  
感謝することを忘れず  
美しい景観を後世に残す



## リーグ百年構想

サッカーに限らず、  
あなたがやりたい競技を  
楽しめる  
スポーツクラブをつくること



## ビーチ再生100年構想

日本のビーチを、  
様々なレジャーやスポーツが  
楽しむことのできる  
「憩いの場」とする



## Jリーグ百年構想

「観る」「する」「参加する」  
スポーツを通して世代を超えた  
触れ合いの輪を広げること

## ビーチ再生100年構想

「観る」「食べる」「参加する」  
ビーチを通して世代を超えた  
触れ合いの輪を広げる



Newスポーツ

# 「地引網」の普及



- 小学生の自然教室時のアクティビティの一つとして導入すれば有意義だと考える
- 屋外では地引網およびビーチスポーツ体験を行い、屋内では勉強会を実施すれば海洋汚染や津波被害を学ぶ機会となる





**子供からお年寄りまでの幅広い世代が  
気軽に参加できるスポーツである**



**ビーク再生100年構想**

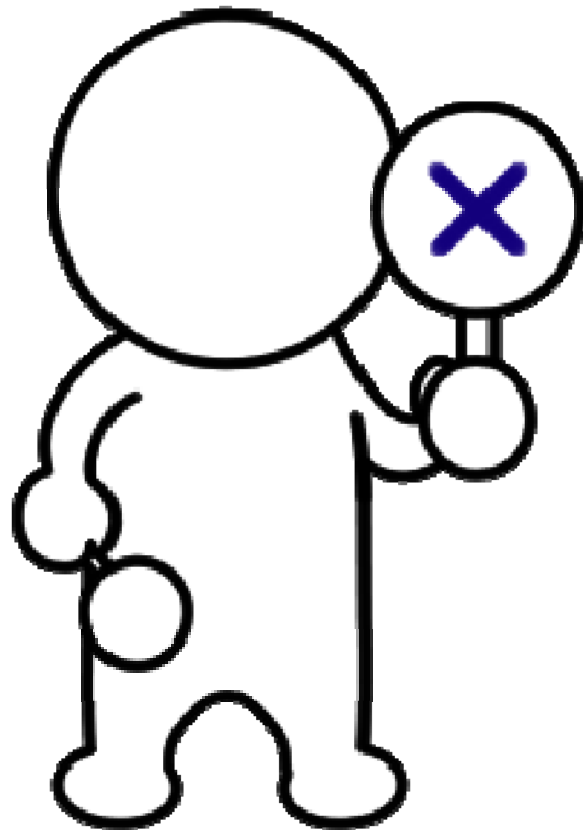
**団結力や達成感が生まれる**



獲った魚を自身で調理することにより  
仕事の大変さや命の尊さを学ぶことができる



海が人の手によって汚されている現状と、  
ゴミのポイ捨てが罪深い行為と自覚できる





毎年恒例で行えば環境モニタリングにもない、  
地域で連携し年々ゴミ減少、漁業量増加の  
良い動機づけとなる

# 「地引網」の有用性①

- 現状の海岸の汚染状況とモラルの低下を子供たちに知ってもらう
- 地域交流の場として、誰でも参加することができ、自然の豊かさを体験することができる
- 海岸が自然に美しくなるのではなく、人の手により作られていると学ぶ



## 「地引網」の有用性②

- 地引網を親子体験型として行えば、親子の絆が深まるだけでなく、スポーツの楽しさが体感することができ、環境意識や防災意識を世代間で共有できる



- 親から子へ、子から孫へ、ビーチ再生意識が受け継がれていけば、100年後の日本は綺麗な砂浜でスポーツが盛んに行われているに違いない

# “ビーチ再生”は オールジャパンの重要政策課題

文部科学省

子供の情操教育

スポーツ庁

スポーツ関連施策

厚生労働省

健康促進

国土交通省

港湾建設

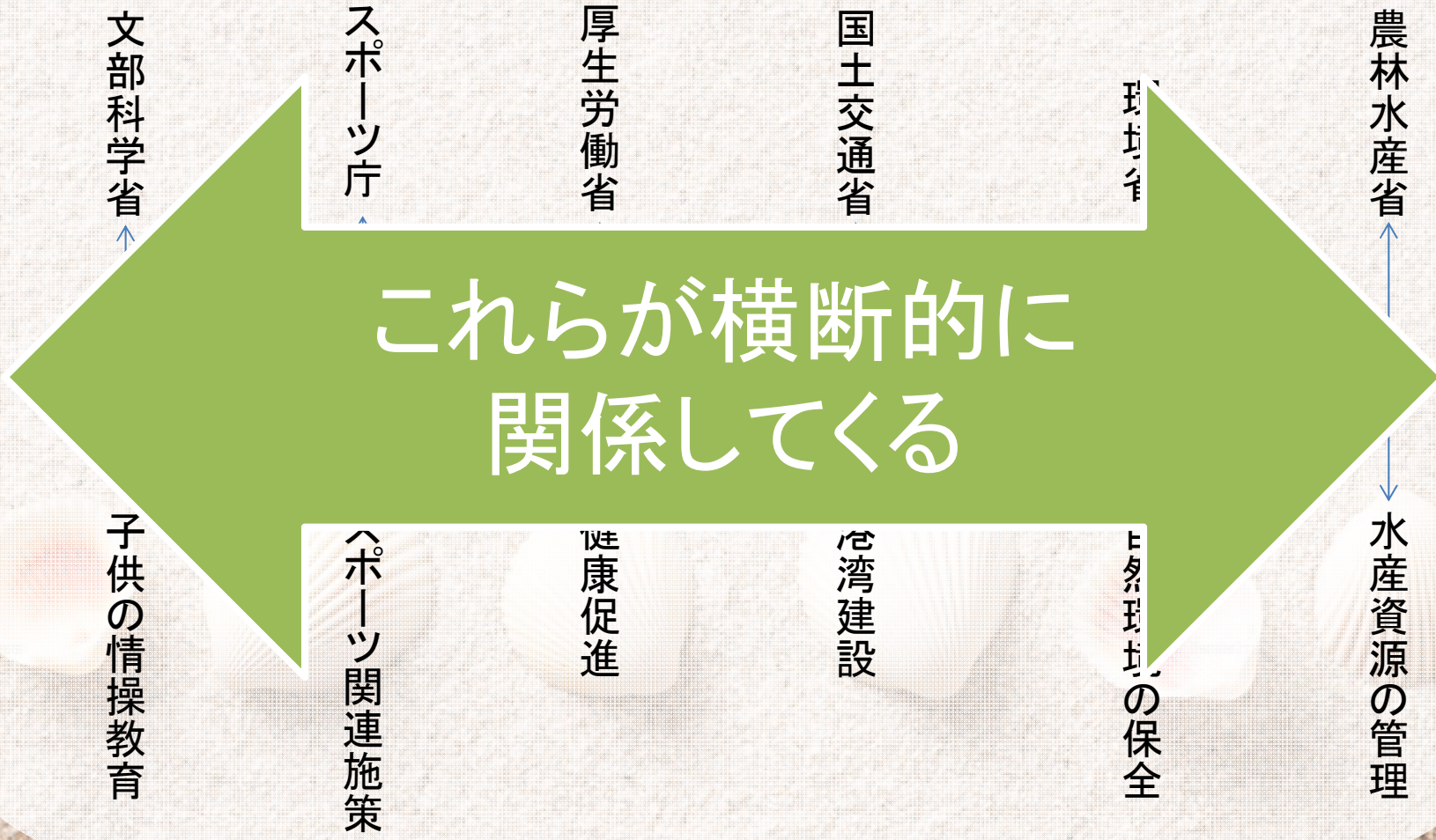
環境省

自然環境の保全

農林水産省

水産資源の管理

# “ビーチ再生”は オールジャパンの重要政策課題



## 環境問題によってスポーツ実施が 左右される時代へ突入

- 熱中症予防のため、  
昼間の練習の制限
- 水質汚濁に伴う  
マリンスポーツ実施断念





# ビーチスポーツの可能性

- 緩衝効果のある砂の上で、既存のスポーツを、より安全に実施できる可能性も秘めている
- 海と日差し抜きには存在しえない  
ビーチスポーツだからこそ、他の競技以上に  
環境問題に敏感な意識を生む



# ビーク再生で 世界をリードする

# 日本へ

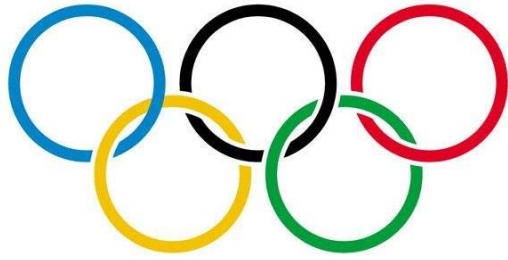
京都議定書ホスト国としての日本

日本の技術力でCO<sub>2</sub>を  
削減し、地球温暖化および  
海水面上昇を防ぐ



3.11を経験した日本

地震大国日本だからこそ、  
津波に備えた教育、政策が  
必要である



## ビーク再生100年構想

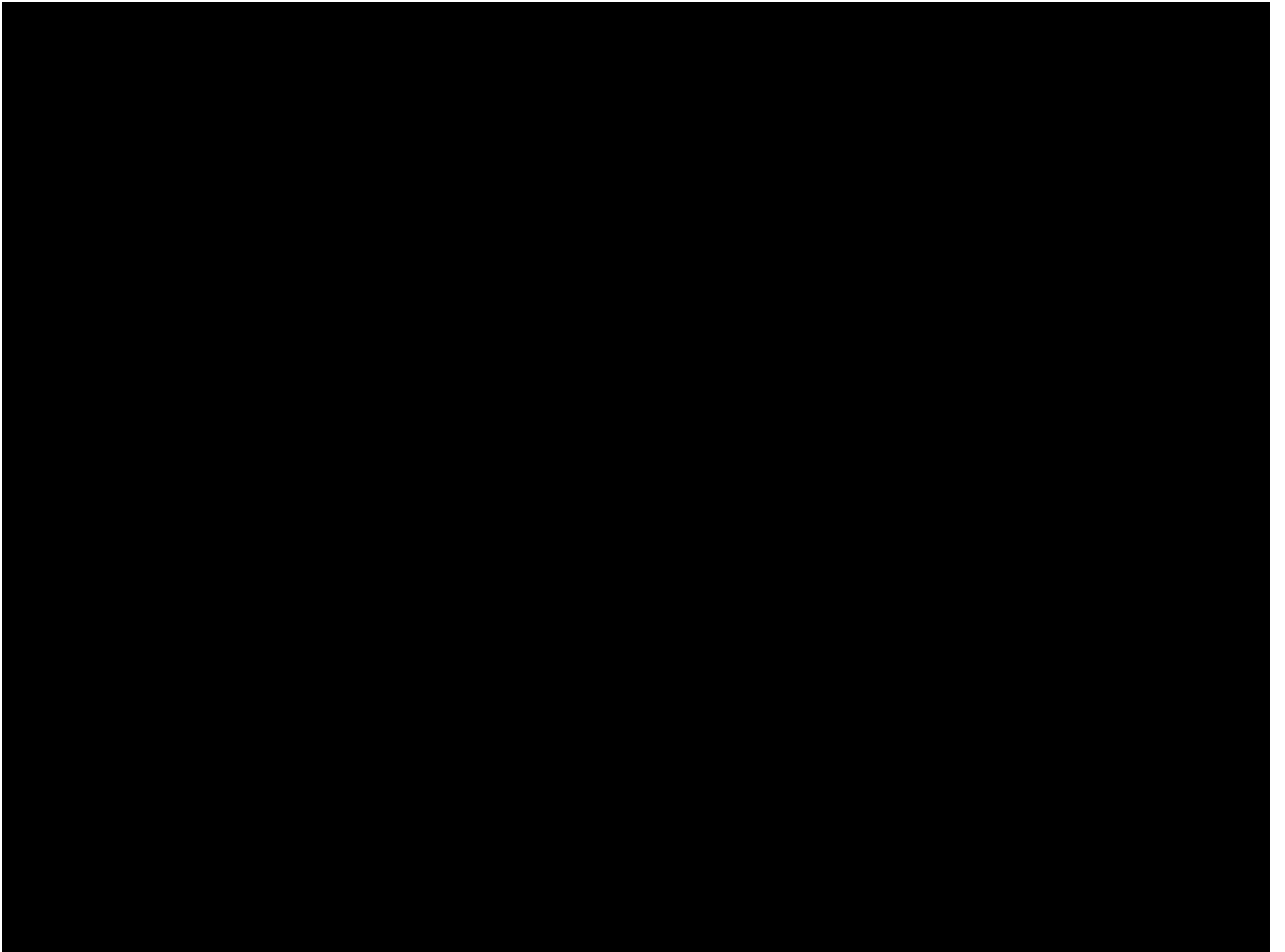
日本人は学校体育でスポーツを学ぶため“**スポーツ=体育**”と誤解している人が多い

オリンピックはスポーツだけではなく、**文化的な祭典**でもある



スポーツジャーナリスト  
玉木 正之氏

出典:「オリンピズムへの理解不足」  
『時評・点描』(毎日新聞:2014年8月30日 東京朝刊)



スポーツ、環境、そして文化で  
日本が世界を先導できるよう

# 「ビーク再生」

を強く提言する

ご清聴ありがとうございました

